

令和7年度古山小学校 第2回学校運営協議会議事録

日 時：令和7年9月19日（金） 13：50～

場 所：ミーティングルーム

参加者

- 学校運営協議会委員 須藤 勇樹 様 宮島 和之 様 高野 泉 様 倉井 典子 様
萩原 優子 様 加藤 仁 様 高橋 修一 校長
余川 美智雄 地域連携教員
- 地域学校協働活動推進委員 坪山 仁 様 海老原 忠 様
- 事務局 小栗 昭彦 教頭 高橋 真江 教務主任
- ※欠席 小林 靖 様 浄法寺 勝 様

1 あいさつ（須藤副会長）

- ・夏休みが終わり、学校が始まった。今後、児童表彰や運動会、陸上記録会など様々な行事がありますが、皆様と協力していきたい。よろしくお願いします。

2 報告・協議

① 報告

・教育活動現況報告（校長）

- ・第一回学校運営協議会後から、現在の学校経営の様子について学校経営計画努力点に沿って説明。
- ・各種学力学習状況調査の結果を踏まえ、学力向上改善プランを策定。
- ・ICTの利活用を具体的な授業の場面を取り上げ紹介。タイピング力の育成に向けた取組。
- ・読書習慣の定着に向けた取組。
- ・居心地のよい学級づくりに向けた取組。
- ・学校課題研究を道徳に設定し、これまで6、4、3、5年生で研究授業を実施。
- ・特別活動関係で、修学旅行や海浜自然教室、体育委員会による体育教室の様子を紹介。
- ・当たり前のことを当たり前にとのことで、あいさつや整理整頓に力を入れている。
- ・特別支援教育の取組。
- ・体力向上を図る指導として、投力の向上に向けた取組、エキスパートティーチャー活用事業を紹介。
- ・健康教育の充実に向け、歯磨き指導、思春期講座、飲酒喫煙など出前授業を取り入れた取組を紹介。
- ・危機管理体制の確立と安全管理の徹底に関して、職員研修を実施。
- ・地域教育資源を生かした学習の実施。
- ・保護者や地域とのつながりを生かした活動の紹介。
- ・小中一貫教育について、石中学区子ども未来プロジェクトや特別支援小中合同交流会などを紹介。
- ・今後の大きな行事の紹介。
- ・ボランティアのご協力により、季節の花が飾られる職員玄関の様子を紹介。

・石中学区運営協議会報告（校長）

- ・8月に各学校の学校運営協議会会長と校長、地域連携教員が参加し、情報交換会を実施。話題の一つが、登校班編制の仕方について。学校の教員だけが決めるシステムに難しさがある。地域で決めるシステムもあるが、学校と地域の代表の方とでやり取りするシステムができないか、また、ボランティアの活用についても話題に挙がったことを報告。

・小中合同クリーン活動（余川）

- ・日時、場所、活動の流れを紹介。ポスターや回覧板等で地域、保護者の方にも協力を依頼。
- ・小中学生と一緒に取り組むクリーン活動やレクリエーションを行い、つながりをもたせる。

（須藤、萩原、教頭）・クリーン活動のポスターは、去年この会議で配り、掲示する場所について話し合った。

（校長）今年度、ポスターについては現在石中で作成中とのこと。

（倉井）地域の方には、回覧が一番いいのでは。

（校長）配布でなく、回覧で回す。

・学校行事（高橋真）

- ・児童表彰式、運動会など第三回学校運営協議会までの大きな行事について紹介。

②協議

・登校班編制について（学校）

- ・古山小の先生方の困っていることや負担に思っていることは、一番に登校班編制であった。
- ・石橋中学区の小学校の登校班編制の仕方を共有。
- ・本校で登校班編制をするときの手順と実態を説明。

教員はまず、保護者に要望（アンケート）実施。すると、〇〇さんの所と組みたくない、集合場所はここが危険だからこっちにして欲しい等と細かい要望がある。それで担当場所の先生達が、来年度の人数を割り振り、10人にいかないように、3人以下にならないように、どことどの班を合体させようか、アンケートを見ながら人間関係も含めながら組んでいる状態だ。一回組んだものを子供達に伝え、さらに、調整し直して来年度が始まる。新一年生についても、入学説明会時に組んでもらっている。そういう状況でかなり時間がかかる。登校班が始まって、子供たちのいざこざも全部学校の方に来る。〇〇さんに△△と言われた、〇〇さんが毎朝遅れてきて困るなどなど。聞いたからには、その関係の保護者に状況を話して解決していく対応にも、またかなりの時間がかかる。登校班について学校が主でなければ、いざこざについても、登校班でやってもらえたらと思う。

・現在学校でやっている状況を、いきなり変えるという風にはいかないかと思うが、少しずついい方法はないのかと、協議会の委員さんにお知恵をお借りしたい。

（委員）・母親同士の話でも、〇〇ちゃんが来ないということで揉めているという話を聞く。先生達が本当に大変だろうと察した。最初組むときは、誰が入学するのか地域で把握していないので、最初だけはどの子が入学しますよということを伝えていただき、そこから先は地域で組むというのもありかなと。先生達の負担が大きいですね。

（委員）・自分がPTAの本部にいたときに、登校班編制に関わっていた。本部役員さんが10人くらいいて、登校班編制の時に地域を分担し、担当の先生と一緒に本部役員が1人ついて、一緒に班編制をしていた。今は、ないんですね。

（学校）・本部役員は、地区ごとにいたのですか。

（委員）・地区ごとではないが、担当という風に割り振っていた。なるべく自分の子供がいる地区や、住んでいる地区に近い所を担当して。今はやっていないのですか。編制の時に、人数が多くなれば、分かれようかとか話し合いながら決めていた。細かい調整も、先生と子供達と本部役員で決めていた。

（学校）・コロナか何かでPTAの活動がなくなってしまったのでしょうか。もし、それをPTAの役員がすることは、実際できますか。

（委員）・多分難しいと思う。人数が少ないのと、アンケートに対する情報が分からない。聞いたら切りが無い。

地区の所で決めるというのは可能なのかなと。今、自治会でやっている学校は、どのようにやっているのか知りたい。うまくいっているのか。確かに先生方の負担は少なくなるが、情報の取り扱いもデリケートで、誰もができるものではない。やり方。当時より PTA の数が少ないので、どういう関わり方でできるのか。従来のやり方でやるのは、非常に厳しいのかなと思う。

(委員)・自治会で決めている学校は、育成会に入らないと登校班に入れない、育成会に入りたくないからうちの子は一人で歩いて行くとか、保護者の送迎で行っているとか聞いたことがある。それが正しいかどうか分からないけれど。

(学校)・その学校は育成会が元々ずっと機能していて、登校班を作っていたが、育成会に入らないから登校班に入らないというのもどうかという話もあり。登校班に入らないから送迎するとか個別に歩くとか色々でしたが、基本的に“みんなで一緒に”の考え方が大きかった気がする。

(委員)・育成会が主導で登校班編制をしている感じなのですね。

(学校)・前任校では、各地区から必ず保護者が補導員さんになって、その方に登校班の編制や見守りなどをしていただいていた。学校から今年度の名簿や新 1 年生の名簿を渡して、地区の方に登校班を作っていた。ただ、ここは育成会がない地区もあるのですよね。

(委員)・下古山はない。通古山地区はありますが、全員が入っているわけではない。

(学校)・補導部というのは、PTA 役員ですか。

(委員)・いや、保護者の方で育成会の代表を兼ねている方が多い。

(学校)・以前勤務した学校では、育成会があって代々引き継いでいき、その中で決めていた。

(委員)・ここは、横のつながりがない。親も若いし、他の地区から入って来た人も多く、なかなか横のつながりがもてない。

(委員)・古山小学区内では、育成会というのは難しいのかな。一番は、保護者の方で。自分がやっていたときは、役員を決めていた。今は、その都度ボランティアだが、当時は役員を決めて一年間よろしくお願ひしますとやっていた。全保護者が必ず委員に所属して何かしらやりましょうという感じでやっていた。当時なら、本部役員が毎年先生達と一緒に登校班編制に加わってやっていた。

(学校)・今度できる地域協働本部にそういう組織を新たに作るというのは可能でしょうか。

(地域学校協働活動推進委員)・学地域協働本部は、学校支援のボランティア活動になるので。

(委員)・PTA の活動で何かできそうかなとか。

(委員)・登校班の編制でいうと、それを編制するためのボランティアを募集して先生達と一緒に行く。そもそも、クレームを親が受けて解決できるのかが心配。先生も大変だが、先生が対応に苦慮していることを保護者が対応ができるのかと。親が受けても〇〇ちゃんって、誰ですか？から始まりそこが心配。

(委員)・アンケートで大体言うだけ言って、ボランティアに参加しないのは本末転倒。そういう話も聞き入れている。言う人だけの話を聞いたら、きりが無いと思う。だったら、参加してください、一緒に考えてくださいと。意見がある人は出て下さいという形がいいと思う。価値観の違いも。なかなか厳しいかなと。

(委員)・登校班は 2 月には切り替わるのですでしたか。

(学校)・行事予定表では、1 月 21 日に新登校班編制が予定されています。そこで子供に伝えます。それより前に、子供たちと先生で決めているという感じです。例年ですと、11 月頃配るようだ。先生方は、冬休みの間に何かやっていたようだ。

(地域学校協働活動推進委員)・登校班等は、学校の業務から離れるべき業務。学校でやらなければならない業務から離れるべき部分ではあります。登下校に関する安全確保も含めて。今、学校がやって非常に大変な思いをされているという現状にある。以前学校で勤務していたときは、地域・育成会の方でやっていたいて、新しい方もどんどん一地区で 300 人位の子供がいたが、育成会の方々が何とか、何とか

回してくれて育成会に入っていない子も含めて班を作ってくれて。学校だと、細かい道路のここが危険、ここは通さない方がいいという所は、先生方は異動があるので、細かいところまで分かりきれない部分がある。それを考えると、地域の方の方が、子供の安全面を考えた通学路を決めやすいし、地域で決めてもらった方がいいのではと思う。例えば、どの班にも5・6年生がいるのであれば、5・6年生の保護者になれば、次の年の登校班を決めなければならないとか、新一年生の情報を学校が渡して、何かそういうサイクルを考えないと状況を改善できない気がする。

(委員)・班の班長、副班長が必ずいるので、そこでもしかしたらその方法が一番いいのかどうか。

(委員)・5年生が翌年班長になるはず。例えば、6年生になるときに、家の近くの編制に保護者が面倒をみるというイメージで。そこに新1年生が何人いるとか。

(学校)・就学時健康診断の時に、お子さんの家の場所にシールを貼ってもらっている。班長の保護者を巻き込んでやれたら。

(委員)・それか、その都度ボランティアを募集して。地域のことが分かっているから。編制の日に先生方と一緒にやるか。それか、先生方から先に情報をもってボランティアで進めるか。しかし、保護者の方だけでやるのもなかなか難しい。最初は、先生方のお力を借りて先生方の負担軽減ができればと思う。

(学校)・そもそも登校班ありなしで言ったら、なくていいというわけではない。全国的にも登校班なしという所もあるみたいです。勝手に来ることができる、心配なら近くの子と行く。本当に面倒が見られるならば、保護者が送って来るなど。

(委員)・登校はそれができるかもしれないが、下校は不審者もいるかもしれない。

(委員)・途中、保護者の協力で立哨していただくことも必要になる。なくていいならとも思いますが。

(委員)・栃木県内では、登校班がない所は結構あるのですか。

(委員)・登校班のアンケートをいちいちお伺いし、聞いてしまうから、言いたくなってしまう人もいるのかもしれない。解決内容がない方もいるのでは。

・家から学校に来るまでに、〇〇が嫌だとかは大した話ではない。解決策がある意見ならいいけれど、大体的場合そういう意見は、解決のない意見が多い。条件だけ決められれば、近くの近所で何人以上何人以下で決めるところまでは、何となくできなくはなく、今をベースにして何とかするのではないかなと思うが、その後のクレームまではお願いされてもそれは。気に入らないのであれば、一人で行くように。

(委員)・ボランティアが中心になって登校班を決める際、5・4年生の保護者が中心になるのが現実的なと。ただ、5年生の保護者さんが一人で決めてと言われると、責任が…と悩んでしまうと思う。地域の近所の5年生4年生の保護者さん2人か3人くらいの保護者で相談できるといいのかなと。ただ、保護者さんも仕事をしている人が多く、どこで集まるのか考えてみたら、1月15日のPTAの授業参観などが可能か、もしくは12月くらいにお会いできる場ができないか。そこで、新一年生の地図を見せてもらいながら、どこかの場面で集まる機会があるといい。上学年の保護者さん、決めてくださいというとしたら、地図と名簿があるから保護者さんに決めていただければという機会があるといいかなと思う。

(学校)・保護者が集まる機会は子年度ないです。

(委員)・昔は、総会だとか、3月下旬か4月頭には必ず1回は集まって今年度はこうしようと話をしていたが、今年はもう間に合わないですね。

(学校)・今年は準備期間というか、こんなことできるかな、こんな風にしたら編制できるかなと、考える年でもいいのかなと。

(委員)・来年度、違った形で一回やってみて。

(学校)・本年度のうちに、こんなことできるかなというものを学校の方で案を出したり、PTAの方と相談させていただいたり。学校運営協議会の方々もどうぞよろしくお願いいたします。

・除草、樹木選定ボランティアについて（学校）

(学校)・本校の困っていることの一つに、除草がある。今年は、かなり暑く、むしっても次から次に草が生え、作業も暑くて外に出られない。ボランティアの募集をPTAの方と相談しながら、来年度以降進めていけたらと思う。もし、何かいい案があったら教えていただきたい。公民館で1月24日（土）に石橋地区庭園管理実践講座があるが、剪定をしていただけて大変助かる。協働推進委員さんの方に、学校が草取りが大変だから、何とかして欲しいと言えば、何かできるという感じでしょうか。

(地域学校協働活動推進委員)・今作ろうとしている地域学校協働本部は、その剪定をやってくれるボランティアがいれば、学校の要請に合わせて来ていただくという組織体制になる。学校が要請していただければ、地域コーディネーターがコーディネートして、何月何日から学校にこういうボランティアが入りますよという提案ができる。

(学校)・そういうことは、学校から直接電話でこういう風にして欲しいと要請するのですか。

(地域学校協働活動推進委員)・その間に地域と学校をつなぐ「地域コーディネーター」がいる。専属でやっている人があるので、その方を通してボランティアを派遣する。

・来年度国分寺地区からスタートするので、その後、石橋地区、南河内地区に立ち上げていくので、石橋地区は再来年から立ち上げる形に。ボランティアの方は、募集をかけて。暑い時期なので、どうかと思うが、例えば老人会の方に声をかけて協力してもらえるかとか、何らかの動きをとって学校支援に回れる人を集めてくるという形になる。

(学校)・今のところはコーディネーターの方は決まっておらず、今後という感じなのでしょうか。

(地域学校協働活動推進委員)・まだ全然決まっていなくて、石橋地区はこれから。来年令和8年4月に立ち上げるための国分寺地区を今やっているわけですから、その後に石橋地区です。

(学校)・学校の方でもボランティアは募集している。春先に、除草など手伝いできる方いますかと。数名しかいないもので、学校での体制をを考えていかなければいけない。

(委員)・学校の校庭は、除草剤をまいていいのですか。

(学校)・まいていい所とまかない所がある。まいた場合は、子供達は立ち入り禁止でカラーコーンを置いて、1週間位遊ばせないということでやっている。子供達が入らない所は、除草剤をまいている。まいた場合は、その区域に入らないようにしている。野球部の方は、まいていない。この前、野球部の方には、除草剤かけてもらえますかとお願ひした。

(委員)・それで、私がまいた。まいていいのであれば、定期的に私だったらできると思う。

(学校)・まいたら、ここ、まきましたよと、カラーコーンでも並べて表示をしていただければ助かる。

(委員)・学校から言ってもらえれば、まくので。あとは学校の方でカラーコーンでも立ててもらえれば。そんな大した量でもない。校庭は、きれいな方がいいです。

(学校)・各学校の桜の木が古くなってゆっくり倒れてしまったり、クビアカツヤカミキリムシの影響でどの学校も桜が、何本も影響が出たりしている。本校も3本桜の木が。各校で伐採される予定だそう。

(委員)・青いのが巻いてあるやつですか。

(学校)・予算もあるので、切るのも優先順位を決めてやる。

(委員)・学校でもボランティアを募集してやっていきたい。

・各委員から

(委員)・最近天気の良い日に、送迎に車で来られる方が割と多いと思う。特に朝、アスファルトの駐車場に入っ
て子供を下ろして出て行ってしまう方や、下校の時もアスファルトの駐車場に停めて登校班を引っ張って、自分の子供だけ乗せて帰ってしまうとかそういう感じを見かけ、どうなのかなと思うことがある。

(学校)・春先に、地図を入れたもので「送迎は北の砂利の駐車場にお願いします」という案内をしたが、もう一度追加で案内したいと思う。

3 事務連絡

- ・児童表彰式、運動会の案内が入れてある。 出欠の方を期日までをお願いしたい。
- ・次回の学校運営協議会は、2月3日。どうぞよろしくお願いいたします。